



2016年11月30日

日本代表が国別対抗で優勝 第14回アジアシニアボウリング選手権大会



【写真左】女子シニアマスターズ戦 個人3冠達成の吉田由美子（左から2人目）



【写真右】女子グランドシニアマスターズ戦 日本勢がメダル独占（久慈、中、茶谷）

第14回アジアシニアボウリング選手権大会は11月22日から29日にかけて大韓民国・ソウルで開催され、日本選手団は国別対抗優勝を果たしました。

大会には8の国と地域から、50歳以上の選手198名が出場しました。男女・年代別の4部門、各5種目を行い、日本勢は全20種目でメダルを獲得。その数は金10・銀8・銅11に上りました。

女子シニアの部では、個人種目のシングルス戦、オールエベンツ（個人総合）、マスターズ戦で吉田由美子（埼玉）が金メダルを獲得しました。女子グランドシニアのマスターズ戦は優勝から3位まで日本勢がメダルを独占し、4人チーム戦は4部門とも日本が金メダルを獲得するなど、日本選手の強さが目立った大会となりました。

【日本選手の入賞成績】

●女子シニア（50～64歳）

- シングルス戦 **金メダル** 吉田由美子（埼玉）
- ダブルス戦 **銅メダル** 宮倉祐子・吉田由美子
- 4人チーム戦 **金メダル** 宮倉祐子・吉田由美子・柳川穂波・吉川朋子
- オールエベンツ **金メダル** 吉田由美子（埼玉）
- マスターズ戦 **金メダル** 吉田由美子（埼玉）、**銀メダル** 鳥谷部エイ子（青森）

●女子グランドシニア（65歳以上）

- シングルス戦 **金メダル** 中ヒロ子（福井）、**銅メダル** 田中和子（北海道）
- ダブルス戦 **銀メダル** 茶谷晴美・久慈順子
- 4人チーム戦 **金メダル** 茶谷晴美・久慈順子・唐津美佐子・小池和美
- オールエベンツ **銀メダル** 茶谷晴美（大阪）、**銅メダル** 久慈順子（岩手）
- マスターズ戦 **金メダル** 久慈順子（岩手）、**銀メダル** 中ヒロ子（福井）、**銅メダル** 茶谷晴美（大阪）



●男子シニア（50～64歳）

- シングルス戦 **銅メダル** 飯田剛（三重）
ダブルス戦 **銀メダル** 石塚康之・鈴木隆博
4人チーム戦 **金メダル** 加地敏浩・前田知一・久保信行・河合義幸
オールイベント **銅メダル** 前田知一（石川）
マスターズ戦 **銅メダル** 前田知一（石川）

●男子グランドシニア（65歳）

- シングルス戦 **銀メダル** 真舂嶺秀弘（京都）、**銅メダル** 松井正信（大阪）
ダブルス戦 **銀メダル** 岩井親孝・播本雄輔、**銅メダル** 真舂嶺秀弘・松井正信
4人チーム戦 **金メダル** 播本雄輔・岩井親孝・神下克己・菊川隆行
銀メダル 松井正信・真舂嶺秀弘・高田勇・別役壽章
オールイベント **銀メダル** 松井正信（大阪）、**銅メダル** 岩井親孝（富山）
マスターズ戦 **金メダル** 松井正信（大阪）、**銅メダル** 岩井親孝（富山）



【写真左】男子シニア4人チーム戦 金メダル 【写真右】男子グランドシニア4人チーム戦 金・銀メダル

【大会概要】

競技日程 2016年11月22日(火)～29日(火)
会場 大韓民国・ソウル Dong Seoul Grand Bowling Center
参加選手数 8の国と地域 計198名（男子110・女子88）

【本件に関するお問い合わせ先】 公益財団法人 全日本ボウリング協会 事務局（担当：宮内）
TEL 03-3452-4501 FAX 03-3452-4504 info@jbc-bowling.or.jp www.jbc-bowling.or.jp